

2. 治療を続けながら働きたい

現状ではがんに特化した休職制度はありませんが、主治医ともよく相談しながらご自身の治療計画に合わせて、就業計画を立てることが大切です。必要に応じて産業医や産業保健師、職場の人事関係担当者、がん相談支援センターの相談員、総合労働相談コーナーへ相談できる場合もあります。

職場の就業規則や傷病休暇制度をはじめ、仕事を持つ人向けの制度や情報を集めておきましょう。

(1) 労働問題全般についての相談

■総合労働相談コーナー

県内の労働局、労働基準監督署内で、無料で労働問題の専門家が相談に応じています。相談内容によっては、担当窓口をご案内する場合があります。受付時間：平日9時～17時（正午から13時までのぞく）

沖縄労働局総合労働相談コーナー ☎ 098-868-6060
（沖縄労働局企画室内3階）

■労働相談（沖縄県女性就業・労働相談センター内）

沖縄県では、労働に関する問題について労使双方から幅広く相談（電話・訪問）に応じています。

受付時間：月～土曜日 9時～20時

フリーダイヤル（通話料無料） ☎ 0120-610-223

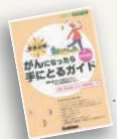
■沖縄県社会保険労務士会 総合労働相談所

労働問題全般に関する相談に、社会保険労務士が無料で対応します。相談は第1・3土曜日（祝日のぞく）の14時～16時、電話か来所。来所の場合は事前に電話またはFAXでご予約をお願いします。

受付時間：平日9時～16時

☎ 098-863-4395 FAX:098-863-3563

（2016年2月現在）



コチラもCheck!

☞ P45 「社会とのつながりを保つ」

(2) 働く人の「こころ」と「からだ」の健康相談

■沖縄県産業保健総合支援センター

産業医学、メンタルヘルス、労働衛生法令等に関する様々な問題について、窓口、電話、FAX、メール等で無料相談に応じます。（相談支援の内容等についてはセンターのHPをご覧ください）

☎ 098-859-6175 <http://www.sanpo47.jp>

利用時間：平日8時半～17時15分 ※窓口相談は事前予約

〒901-0152 那覇市字小祿1831-1 沖縄産業支援センター 2階(203-1)

(3) 生活から就職までの総合相談

■グッジョブセンターおきなわ

みなさまの「働きたい」「雇用したい」を応援します。若年者、中高年齢者、子育て中の女性、さまざまな理由で長い間就職できずにお困りの方や生活に不安を抱える方など、さらには事業主の方をサポートします。

グッジョブセンターおきなわ ☎ 098-865-5006

<http://www.gjcenter.jp>

利用時間：月～金曜日（祝日、年末年始をのぞく） 9時～17時

〒900-0021 那覇市泉崎1-15-10 1F

グッジョブセンターおきなわ 中部サテライト ☎ 098-923-0078

利用時間：月～金曜日（祝日、年末年始をのぞく） 9時～17時

〒904-0116 北谷町北谷2-13-3

(4) 医療機関での就労相談

がんになっても安心して働けるように、社会保険労務士とソーシャルワーカーが協働して相談に応じます。

■琉球大学医学部附属病院がん相談支援センター

☎ 098-895-1507

利用時間：毎月第1・3金曜日（祝日のぞく） 13時～17時、要予約

■那覇市立病院がん相談支援センター

☎ 098-884-5111（内線283）

利用時間：毎月第3水曜日（祝日のぞく） 13時～17時、要予約

(5) 女性の就業相談、仕事と子育ての両立などの相談

■沖縄県女性就業・労働相談センター(三重城合同庁舎5階)

「女性のおしごと応援事業」では、働きたい、働き続けたい女性を総合的に支援するため、相談窓口の設置や、キャリアアップセミナー、内職求人情報の案内などを行っています。

☎ 098-863-1788 利用時間：平日8時半～17時15分

■母子家庭等就業・自立支援センター

ひとり親世帯および寡婦(40歳以上の独身女性で、かつてひとり親として児童を扶養していたことのある方)を対象に、電話や面談により様々な相談を受け付けています。主に就業相談・養育相談・法律相談を行っています。

☎ 098-887-4099
受付時間：月・火・木・金曜日 9時～17時(電話相談可、来所相談は要予約)

(6) 働くがん患者の支援団体、冊子

■一般社団法人CSRプロジェクト ☎ 03-6456-1700

<http://workingsurvivors.org>

がん治療に伴う経済的な不安や雇用に関する不安など、電話相談にも対応しています。電話相談は事前に申し込みが必要です。

■NPO法人キャンサーリボンズ ☎ 03-3546-6101

<http://www.ribbonz.jp>

『がんと働く』プロジェクトで、がんを持っていても自分らしい働き方を続けられることを目指して、リワークノートの発行やさまざまな情報提供をしています。

■がんと共に働く 知る・伝える・動き出す

http://special.nikkeibp.co.jp/as/201401/work_with_cancer/

がん患者の方が働き続ける際に役立つ工夫や職場の対応など、様々な取り組みを情報提供しています。

■がんと仕事のQ&A 第2版

<http://ganjoho.jp/public/support/work/qa/>

体験者からの声を元に作られたQ&A集です。体験者からのアドバイスやコラム、役立つ資料も掲載されています。国立がん研究センターがん対策情報センターの「がん情報サービス」サイトからダウンロード可能です。



体験談

「仕事と、子育てと、乳がんの治療」

3人目の子供を出産し、しばらくして「乳がん」の診断を受けました。

覚悟はしていました。以前よりしこりがあったので、大きくなってきたしこりに「やっぱりか～」と。先生より抗がん剤治療と手術の説明があり、治療は受けるつもりだけど、小さな3人の子供のこと、仕事のこと、治療費のこと、不安はいっぱいでした。

夜勤のある仕事をしていますが、家計のことを考えると仕事を辞めるわけにはいきません。でも、治療を受けながら働けるのが不安でした。抗がん剤の副作用で髪の毛が抜けたり、体調が悪くなったりしても業務がこなせるだろうか。そもそも働いてよいのだろうか。

そんな悩みを所属長と乳がん経験者の上司が支えてくれました。夜勤をなくし、日勤のみに勤務形態を変更し、「まずはやってみよう！」と声をかけていただいたのです。私の休みの日に所属長から同僚へ、病気で配慮が必要なことを説明してくれたようです。

いざ治療が始まってみると、上司が日々の様子を気にかけてくれて、体調不良の時には早退したり、体力を使う力仕事ではなく事務仕事に切り替えてくれたりと、何とか勤務を続けることができました。

今思えば、仕事と子育てで毎日が目まぐるしく、病気のことを考えるのは病院に来ているときだけで、病気のことを思いわずらう時間がなかったことが、逆に、私にとって病気を乗り越える助けになったと思います。

(30代 女性)